

## ○個人積算線量計の測定結果（平成 26 年）

市では、高校生以上の方、計 310 人を対象に平成 26 年 11 月から平成 27 年 3 月にかけて、個人積算線量計（外部から被ばくする放射線を測る装置）による 2 週間の測定を行いました。

### ○測定について

●測定期間： 平成 26 年 11 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日のうち、2 週間

●測定者： 相馬市民 310 人

●測定機器： 千代田テクノル社製個人積算線量計（D-シャトル）

### ●年間推定量の計算方法

この測定結果の年間推定線量とは、測定した 2 週間の外部被ばく量を 1 年分に換算しています。

### ○結果

▽国が設定した年間推定追加外部被ばく線量の目標値（1.0mSv）を超える方が、平成 26 年度は 3 人（全体の 0.97%）でした。また、測定者のほとんど（全体の 99.03%）の方の年間推定追加外部被ばく線量は 1.0 mSv 以下でした。

なお、年間推定追加外部被ばく線量が 1.0 mSv を超えた方については、保健師による生活指導を実施し、再測定についても今後実施していきます。

▽やや空間線量の高い地域在住の方の測定結果が高い傾向にあるものの、明らかな男女間の差による線量の差はなく、現状の相馬市内での生活で受ける外部被ばくは、健康に影響を及ぼすとは考えられない程度の量と考えられます。

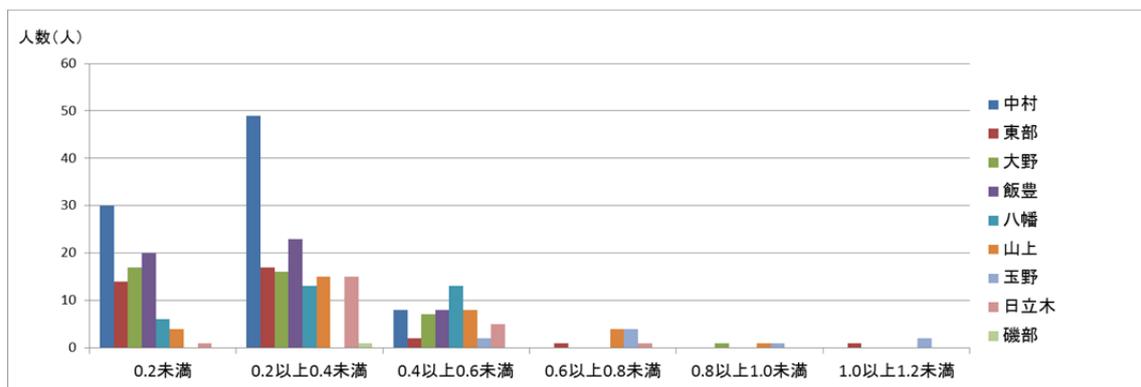
▽今後も外部被ばく量が増えないことを確認するために、継続的な測定が必要であると考えられます。

○全体の線量分布

全体の線量分布は以下のとおりです。やや空間線量の高い地域の測定結果が高い傾向にあるものの、明らかな男女差は認められませんでした。

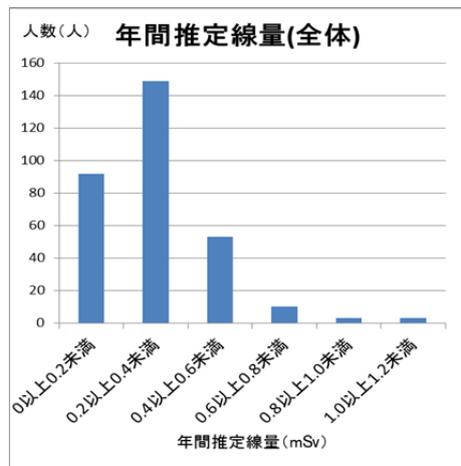
▽地域ごとの線量分布

年間推定線量 (mSv)	中村	東部	大野	飯豊	八幡	山上	玉野	日立木	磯部	計
0.2未満	30	14	17	20	6	4	0	1	0	92
0.2以上0.4未満	49	17	16	23	13	15	0	15	1	149
0.4以上0.6未満	8	2	7	8	13	8	2	5	0	53
0.6以上0.8未満	0	1	0	0	0	4	4	1	0	10
0.8以上1.0未満	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
1.0以上1.2未満	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
<b>計</b>	<b>87</b>	<b>35</b>	<b>41</b>	<b>51</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>9</b>	<b>22</b>	<b>1</b>	<b>310</b>



▽男女ごとの線量分布

年間推定線量(mSv)	合計人数	(うち男)	(うち女)
0.2未満	92	46	46
0.2以上0.4未満	149	67	82
0.4以上0.6未満	53	33	20
0.6以上0.8未満	10	6	4
0.8以上1.0未満	3	2	1
1.0以上1.2未満	3	2	1
<b>計</b>	<b>310</b>	<b>156</b>	<b>154</b>



○測定結果に関する問合せ先

放射能対策室（電話 0244-37-2270）